

教務研究

部

重点
目標

主体性社会性や豊かな心の育成

指導の重点		取り組みの結果	学校の自己評価と改善策	学校関係者評価委員より
内容	○「郷育や道徳教育を基盤とした望ましい人間関係の育成」を推進する。	アンケート(児童・生徒) 【思いやりの気持ちをもって友だちに接している。】 3. 4	C ○「郷育」を十分推進できていない。そこで、小中一貫教育グランドデザインの中心に位置づけ、推進するための基盤作りに取り組んだ。3学期から適切な上下関係や切磋琢磨し合う人間関係作りを推進したい。 ○道徳教育については、小学部では道徳科が順調にスタートし、中学部でも来年度の準備は整っている。 次年度は、小中共通して思いやりや協調性を重点項目として掲げ、指導を充実させる。	○地域に子どもの数が減り、地域の中で遊んだり行事に参加したりすることが少なくなって、地域の教育力が下がってきているが、学校が進めている「郷育」は人間関係の育成に大きな力になっていると思う。 ○自尊感情の低さは自己肯定感の育成が不足していることにつながっているのではないだろうか。郷育のなかで自信につながる方向性を出してみてもいいと思います。 ○地域の行事に参加する機会が少なく、また、参加しても受け身で達成感を感じていない。自分たちで企画・立案して提案し、行事をすれば達成感も生まれ、有用感も高まるのではないかと。
取り組み	○郷育の推進 ・ブロック集会や委員会活動等の充実 ・適切な上下関係の創造 ○道徳教育の充実・思いやりや協調性を重視した道徳教育の推進や道徳科の充実	○社会性アンケート【自尊感情に関するアンケート3項目】2. 2～2. 4 ※自尊感情が非常に低いので、郷育の推進で自己有用感を高めれば、自尊感情が高まるのではないかと考える。		
内容	○教師の指導力向上や児童生徒の学力向上を推進する。	アンケート(児童・生徒) 【授業はよく分かる。】 3. 2 ○主題研究での研究授業や一人一授業を充実させることができた。 ○授業力向上の4視点(※1)を意識し、授業改善に取り組むことができた。	B ○主題研究を中心とした授業改善の方式は、次年度も実施する。さらに改善できるように内容を充実させていきたい。 ○学習10の約束で徹底されていない項目は、7月も12月もほぼ一緒であった。一方で、数値は少しずつではあるが向上している。このことから3学期は、その改善に向けて継続して取り組んでいきたい。	B ○授業参観をして先生方が創意工夫をされていることがよく分かります。継続してほしいと思っています。暗中模索でされていると思うので目に見える何かがあると励みにつながると思います。 ○学習10の約束は、学校で学ぶ姿勢の基本であり、変わらないものであると思うので、低学年からの定着を図ることで、小中一貫の強みとして学習に活かせるのではないかと。
取り組み	○主題研究の充実 ・授業力向上の4視点による授業改善 ○学力向上対策委員会の取組の充実 ・学力向上に関する取組の推進 ○OJTを活用した授業力向上 ・研究授業や一人一授業の推進	○学習10の約束(※2)の意識調査の変容 【立腰】2.51→2.69 【計画的な勉強】2.59→2.73 【私語厳禁】2.82→2.90		
内容	○9年間を見通したキャリア教育を推進する。	アンケート(児童・生徒) 【目標を決めて努力している。】 3. 2 アンケート(保護者) 【保護者として参観授業や懇談には積極的に参加している。】 3. 3 【保護者として学校や学級からのお知らせは確実に目を通してしている。】 3. 1 ○「出前授業」については、計画通りに実施できている。また、参観日でも「出前授業」「よのなか教室」を実施することができた。 ○キャリア教育を含めた総合的な学習の時間を見直しにまだ取り組めていない。 ○キャリア教育に関するアンケートについては、市町村教育委員会が作成したものを活用し、経年変化で分析する。	B ○9年間を見通したキャリア教育を推進できるように、総合的な学習の時間の年間指導計画を3学期中に作成する。 ○「出前授業」については、次年度も計画通りに実施できるように、本年度中に計画を立てたい。「よのなか教室」についてもさらに推進していきたい。	○様々な情報に接することができるようになった現代でもやはり身近にいる人の影響が大きいと思うので、家庭・保護者も含め、職業というものに興味を持つ場面をたくさん設定してもらえとよいと思う。 ○出前授業、世の中教室の開催が目的になっているように感じます。その先に何を達成しようとしているのかキャリア教育の推進で何があるのかが分かりません。 ○保護者自身が子どもの社会性を身につける手助けをもっとしないといけない。そのためには保護者への啓発が必要ではないか。 ○父親の参観日への出席率を高めてほしい。(基本的には夫婦同伴の参観が望ましい。)
取り組み	○「出前授業」及び「よのなか教室」の推進 ・3～9年生での出前授業の推進 ・全学年での「よのなか教室」の推進 ・自分を見つめ直す機会の充実 ○家庭への啓発の推進 ・参観日及び学級通信等の活用			